

令和3年度 第3回千葉市スポーツ推進審議会議事録

- 1 日 時 令和3年3月22日(火) 午後2時00分～午後2時45分
- 2 場 所 千葉中央コミュニティセンター 93会議室
- 3 出席者 (委員)
小川直哉会長、本澤英雄副会長、小川重夫委員、五月女重夫委員、谷藤千香委員
萩原拓也委員、馬場宏輝委員、古山智和委員、山根和子委員
(事務局)
神田生活文化スポーツ部長、村田スポーツ振興課長、堀スポーツ振興課長補佐、廣
岡担当課長補佐、松澤主査、堀越主査、吉田主任主事、田口主任主事、松本主事、
野崎保健体育課長補佐、平川指導主任主事、
内藤公益財団法人千葉市スポーツ協会施設長

4 議 題

(1) 報告

- ア WEB アンケート調査の結果
- イ 令和3年度スポーツイベントの開催状況
- ウ 令和3年度トップスポーツ連携事業
- エ 令和3年度千葉市スポーツ功労者
- オ 令和3年度教育・文化・スポーツ功労者

(1) 議 事

- ア 千葉市のスポーツ推進への提言(案)

5 議題の概要

(1) 報告

5項目の報告を行った。

(2) 議事

千葉市のスポーツ推進への提言についてご審議いただいた。

6 会議経過

開 会 午後2時00分

【堀課長補佐】本日の進行を務めます、スポーツ振興課の堀でございます。なお、本審議会は千葉市情報公開条例により、公開することになっております。本日傍聴者はありません。なお、会議終了後、議事録の作成、議事録の確定を行い、開示されることとなりますので、あらかじめ御了解ください。次第に従いまして、はじめに小川直哉会長よりご挨拶をいただきたいと思います。

【小川会長】皆さんこんにちは。本日は年度末のお忙しい中、スポーツ推進審議会にお集まりいただき誠にありがとうございます。ご承知のように18都道府県に出されていたまん延防止等措置が昨日を以て解除されましたが、まだ油断はできない状況です。それでも様々なスポーツ活動やイベントが徐々に復活してくると良いと考えております。それにも増して、国際法を無視したロシアによるウクライナへの侵攻により、無差別に民間施設等へ攻撃が行われている状況を見るたびに、本当に胸を痛めている人は多い

と思います。そうした中であって、第13回パラリンピック北京大会が終了しました。ウクライナの選手団は、金メダルが11、銀10銅8と中国に次いで多くのメダルを獲得しました。ウクライナの選手の皆さんは、家族を想い、祖国に強い想いを込めて頑張る姿は私たちに深い感動を与えてくれました。そこで新たに平和の大切さと、スポーツの持つ力というものを感じた大会でした。また、鹿児島国体、三重国体が2年連続で中止になりましたが、今年は栃木国体が完全実施できると思います。千葉市ではセーリング競技が行われますので私たちもできる限り応援していきたいと思います。本日は報告事項が5件と審議事項が1件となっておりますのでよろしく願いいたします。

【堀課長補佐】ありがとうございました。続きまして生活文化スポーツ部長の神田よりご挨拶を申し上げます。

【神田部長】本日はお忙しい中、またお足元の悪い中お集まりいただき誠にありがとうございます。また、日頃から本市のスポーツ行政にご尽力いただきまして誠にありがとうございます。さて、2022年に入りまして、会長のご挨拶にもありましたとおり、オミクロン株が急速に拡大いたしまして、昨日まん延防止法の重点地域から解除されましたが、相変わらず新型コロナウイルスは市民生活に影響を及ぼしております。スポーツにおいてもイベントの中止などが相次いでおり、部活動の制限なども行われました。しかしながら、この2年間の間に、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されただけでなく、スポーツに関わる皆様のご尽力により、市内においても感染症対策を施しながらイベント等が行われてきたところでございます。また、令和3年2月には委員の皆様にご審議いただきました「千葉市スポーツ推進計画（改訂版）」が発行されまして、新たに「70%のスポーツ実施率・障害者のスポーツ実施率40%」という数値目標や、新規・拡充の取り組みが盛り込まれ、より高い目標に向かって千葉市のスポーツ振興に取り組むこととなりました。このように本市のスポーツを取り巻く環境が大きく変化する中においても、新たな数値目標の達成に向け、東京2020オリンピック・パラリンピックにより醸成された機運を逃すことなく、より一層本市のスポーツ振興に取り組んで参りたいと考えております。最後になりますが、2年間にわたりまして千葉市のスポーツ振興のためにご審議いただきましたこと、御礼申し上げます。本日もよろしく願いいたします。

【堀課長補佐】それでは、これからの進行につきましては、小川会長にお願いいたします。

【小川会長】まず、「議事録署名人」について、先程、説明があったように、本審議会は会議が公開されており、議事録の確定方法については、「あらかじめ指名された委員」による承認にしたいと思いますが、よろしいですか。

【各委員】<異議なし>

【小川会長】それでは、議事録署名人として、馬場委員にお願いしたいと思います。

【馬場委員】<了承>

【小川会長】それでは、会議次第に従いまして、進めてまいりたいと思います。報告事項「WEBアンケート調査の結果」についてスポーツ振興課よりお願いします。

【スポーツ振興課職員】<資料1により説明>

【小川会長】ただいまの報告でなにかご質問ありましたらお願いいたします。

【馬場委員】今すぐお答えいただかなくて構いませんが、週5日以上、3日以上などスポーツ実施率について気になるのは、年に1日から3日しか行っていない人だと思っています。他の設問の結果を見ますと、より多くスポーツを行うために必要だと感じることに関

しては、施設に関する数字が高いですが、これは恐らくスポーツしている人の要望ではないかと思えます。ですので、あまりスポーツをしていない人たちの要望というか、クロス集計を行うと、スポーツをしている人の要望としていない人の要望がでると思えます。スポーツ実施率を上げるため、スポーツしていない人がどのようなことを望んでいるのかということがもう少し出れば、分析されているとは思いますが、面白いのではないかと思います。そのような情報があれば改めていただけると助かります。

【小川会長】ただいまのご意見について今すぐの回答は難しいでしょうか。

【スポーツ振興課職員】今すぐは難しいですが、調査結果や調査方法等検証いたしまして、普段スポーツを行っていない方へのアプローチなど検討してまいります。

【小川会長】そのほか、ありますでしょうか。

【各委員】<なし>

【小川会長】それでは、報告事項「令和3年度スポーツイベントの開催状況」について、スポーツ振興課よりお願いします。

【スポーツ振興課職員】<資料2により説明>

【小川会長】ただいまの報告でなにかご質問ありましたらお願いいたします。

【小川会長】Urban MTB Festival in 千葉公園というのは、観客数2万人をこえて非常に多いですね。

【スポーツ振興課職員】選手の参加だけではなく、出店など公園全体を使ったイベントとなっており、競技者以外の来場者も体験等を通じて楽しめるものとなっております。

【小川会長】そのほか、ありますでしょうか。

【各委員】<なし>

【小川会長】それでは、報告事項「令和3年度トップスポーツ連携事業」について、スポーツ振興課よりお願いします。

【スポーツ振興課職員】<資料3により説明>

【小川会長】ただいまの報告でなにかご質問ありましたらお願いいたします。

【各委員】<なし>

【小川会長】それでは、報告事項「令和3年度千葉市スポーツ功労者」について、スポーツ振興課よりお願いします。

【廣岡担当課長補佐】<資料4により説明>

【小川会長】ただいまの報告でなにかご質問ありましたらお願いいたします。

【各委員】<なし>

【小川会長】それでは、報告事項「令和3年度教育・文化・スポーツ功労者」について、スポーツ振興課よりお願いします。

【廣岡担当課長補佐】<資料5により説明>

【小川会長】ただいまの報告でなにかご質問ありましたらお願いいたします。

【小川会長】対象者の競技名の中でヨット競技があるが、セーリングではなくヨット競技で良いのか。

【廣岡担当課長補佐】表彰については、各団体から上がってきた資料を審査しております。

【内藤公益財団法人千葉市スポーツ協会施設長】

国体やオリンピックの場合、ヨットの他にウィンドサーフィンがセーリングという括りになりますが、この場合はヨットだけですので、正式でよろしいかと思います。

【小川会長】そのほか、ありますでしょうか。

【各委員】<なし>

【小川会長】 それでは議事に入ります。議事「千葉市のスポーツ推進への提言（案）」について説明をお願いします。

【スポーツ振興課職員】 <資料6より説明>

【小川会長】 ただいまの提言につきましてご意見や修正等ありますでしょうか。

【小川重夫委員】 「Ⅱ 地元アスリート支援について」ですけれども、これは前回12月の審議会ではじめて議題として上がったもので、委員の出席数も少なかったと思いますので、継続して国や県、他都市の事例や、千葉市の既存の取り組みの効果等をよく研究し、具体的な取り組みについて引き続き検討していったらよいかと思います。そういったことから、今回「Ⅱ」については提言という形ではなく、意見として挙げたらよいのではと思います。

【村田課長】 ただいま小川委員からありましたとおり、検討に関する期間も短かったので、来年も継続して他都市の動向等も調査しつつ引き続き検討して参りたいと考えます。

【小川会長】 では「Ⅱ 地元アスリート支援について」他都市も含めて引き続き研究していただくということで、継続検討ということでよろしいでしょうか。

【各委員】 <なし>

【小川会長】他に全体として何かありますでしょうか。

【小川会長】 1点よろしいでしょうか。総合型地域スポーツクラブについてですが、登録認証制度ができる見込みです。千葉県では86ヶ所設置されていたかと思いますが、千葉市では何ヶ所でしたでしょうか。

【廣岡担当課長補佐】 現在8ヶ所で申請中が1件です。

【小川会長】 登録申請窓口は千葉県スポーツ協会とスポーツ庁になり、申請料は千葉県が3,000円、国の方が5,000円で毎年更新制となる見込みです。種目が2種目以上か、指導員がいるか、ガバナンスがしっかりとできているかなど審査するということです。

【小川重夫委員】 会長からもありましたとおり、スポーツ庁の方でもスポーツガバナンスがしっかりできていないと話にならないということで、助成金ももらえません。スポーツガバナンスを常に公表することなど、スポーツガバナンスについては国の方からもかなり言われております。そういったことを今後特に考えていかなければいけない、特に団体についてそのようなことを求めていくということが必要かと思えます。

【小川会長】他に何かありますでしょうか。

【各委員】 <なし>

【小川会長】 それでは議事については以上としたいと思います。

その他何かありますでしょうか。

【村田課長】 スポーツ振興課長の村田です。冒頭、部長の神田からも少しお話をさせていただきましたが、委員の皆様の任期は令和4年6月までとなっておりますので、今回の審議会が任期中において予定されている最後の審議会となります。2年間にわたり本市のスポーツ推進にご尽力賜りましたこと、改めまして御礼申し上げます。ありがとうございます。

【小川会長】 それでは、以上で協議を終了します。村田課長からありましたとおり、われわれの任期は6月末までとなっておりますが、任期中での審議会は特段の事情がない限り、今回で終了とのことです。2年間大変お疲れ様でした。ご協力ありがとうございました。進行を事務局にお返しします。

【堀 課長補佐】小川会長議事進行ありがとうございました。それでは、これをもちまして、「令和3年度第3回千葉市スポーツ推進審議会」を終わらせていただきます。2年間にわたりご審議いただきまして誠にありがとうございました。

閉 会 午後2時45分